

流れるままに我が道を行く

対談と演奏

鈴木良雄のJAZZ街道
巨匠は語る

令和7年

1月18日(土)

14時開演(13時30分開場)

会場：新宿ピットイン
新宿区新宿2-12-4アコード新宿B1

入場料：全席自由 3,500円
※別途ドリンク代500円を当日会場でお支払いいただきます。

主催：公益財団法人新宿音楽創造財団
企画協力：株式会社ピットインミュージック

ハクエイ・キム(音楽家)



久保木靖
(ライター)



伊藤深
(プロデューサー)



バードマン幸田
(元JAZZ SPOT J 店主)



小西啓一
(評論家/ラジオ・プロデューサー)

巨匠は語る

鈴木良雄のJAZZ街道 流れるままに我が道を行く

《第1部》

我が青春 東京～ニューヨークを駆け巡る

演奏：鈴木良雄（ピアノソロ）

対談：久保木靖（ライター）

鈴木良雄（演出家・「死ぬまでジャズ」の著作者）

バードマン幸田（元JAZZ SPOT J店主）

小西啓一（評論家／ラジオ・プロデューサー）

《第2部》

自我の確立 そして再び日本へ

演奏：鈴木良雄（ベースソロ）

対談：久保木靖（ライター）

鈴木良雄（演出家・「死ぬまでジャズ」の著作者）

伊藤潔（プロデューサー）

ハクエイ・キム（演奏家）

バードマン幸田（元JAZZ SPOT J店主）

小西啓一（評論家／ラジオ・プロデューサー）

《クロージング演奏》

鈴木良雄(B) with ハクエイ・キム(Pf)

令和7年

1月18日(土)

14時開演（13時30分開場）

会場：新宿ピットイン 新宿区新宿 2-12-4 アコード新宿 B1

入場料：全席自由 3,500円 ※未就学児入場不可

※別途当日ドリンク代 500円を会場にお支払いください。

チケット販売：令和6年11月13日（水）13：00～

新宿文化センター Web・電話・窓口にて販売

※窓口販売については電話にて要問合せ。



申込・問合せ：新宿文化センター仮事務所 TEL：03-3350-1141（平日 9：00-17：00）

公演当日 1月18日（土）TEL：090-9209-3028（9：00-17：00）

※公演当日のみ受信可能

主催：公益財団法人新宿未来創造財団 企画協力：株式会社ピットインミュージック

【注意事項】 ※チケットの紛失による再発行はいたしかねますので、ご注意ください。※電話予約でチケットの郵送を希望される場合、別途チケット郵送料 110円 をご負担いただきます。※車椅子でご観覧のご希望は、電話にてお申し込みください。※チケットご購入の際に収集したお客様の個人情報は、チケット発券システム「Getii」および、当財団個人情報規定に基づき、適正かつ厳重に管理いたします。



鈴木良雄（BASS・PIANO・作曲）

1946年長野県木曾福島生まれ。早大モダンジャズ研究会ではピアノを担当、卒業後ベーシストに転向。1969年～73年、渡辺貞夫、菊池雅章のグループで活躍。73年渡米し、74年スタン・ゲッツ・グループ、74年～76年アート・ブレイキー&ザ・ジャズ・メッセンジャーズのレギュラーベーシストとして活躍。85年帰国後、自己のグループ MATSURI、93年に EAST BOUNCE を結成。2001年から19年続いたグループ BASS TALK では新たな音世界に挑戦し続け4枚のCDを作り、2005年には2週間のEUツアーも敢行。2009年に秋吉敏子、小曾根真らの日本を代表する6人のピアニストとのDUOのCD「My Dear Pianists」をリリースし、南里文雄賞を受賞。2008年、若者達とのバンド GENERATION GAP を結成。2015年にCD「Generation Gap」をリリース。2016年竹書房よりジャズ入門書「人生が変わる55のジャズ名盤入門」を出版。現在は2019年に結成した THE BLEND の活動を本格化し新たな音宇宙への挑戦を続け、2022年4月に新譜「Five Dance」をリリース。2024年1月にはリットーミュージックより自伝本「死ぬまでジャズ」出版。「チンさん」のニックネームでミュージシャン・ファンから親しまれ、日本ジャズ界のリーダー的存在である。



久保木靖（ライター）

音楽ライター／エディター。1969年7月19日、茨城県生まれ。中学時代にギターを始め、ロック～ブルースを経て、大学時代にジャズに開眼。オールタイム・フェイヴァリットはチャーリー・クリスチャンとセロニアス・モンク。著書・共著に『中牟礼貞則 孤高のジャズ・インプロヴァイザーの長き旅路』、『レジェンド・オブ・チャーリー・クリスチャン』、『ジャズのすゝめ』(以上、リットーミュージック)、『不世出の天才ジブシー・スウィング・ギタリスト ジャンゴ・ラインハルト』、『ディスク・ガイド JAZZ Guitar』(以上、シンコーミュージック)などがある。愛用のギターはギブソン ES-150 (1937年製)。趣味は海外釣行、読書 (ミステリー)。珈琲と猫をこよなく愛す。



伊藤潔（プロデューサー）

1946年名古屋生まれ。慶応義塾大学卒業後、69年CBSソニーに入社。73年退社までに、渡辺貞夫、増尾好秋、笠井紀美子、鈴木良雄、Gary Peacock をプロデュース。また、A&R として "Miles in Tokyo"、"Weather Report in Tokyo"、"Bill Evans in Tokyo" を制作。1975年鯉沼利成氏の「あいミュージック」に参加。86年までにイースト・ウィンド (日本フォノグラム)、フライング・ディスク (ビクター)、オーブンスカイ (CBSソニー)、インターフェイス (日本コロムビア) のレーベルで約100枚のアルバムをプロデュース。1987年インディペンデント・プロデューサーとして、アタッチ (エピック・ソニー) と契約。Nancy Wilson, Steve Gadd, Eddie Gomez, Richard Tee, 伊藤君子、佐藤允彦をプロデュース。米CBSも発売。1992年ワン・ヴォイス (ビデオアーツ) と契約。鈴木良雄、川崎 僚、伊藤君子、寺井尚子、Richard Tee, John Tropea をプロデュース。またイーストワークスで綾戸智絵をプロデュース。2007年 "One" を設立。現在までのプロデュース作品は約180枚。2024年夏、半世紀以上に渡るプロデュースを纏めたエッセイ、「My Dear Artists」をシンコー・ミュージックから発売。



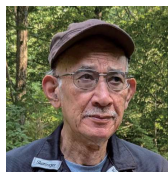
ハクエイ・キム / Hakuei Kim (ピアニスト / 作曲家)

1975年に京都市生まれる。札幌育ち。韓日クォーター。オーストラリア、シドニー大学音楽院卒業。2005年DIWよりインディーズ・デビュー。2011年ユニバーサルミュージックよりメジャー・デビュー。これまでに、札幌シティ・ジャズ・フェスティバル、香港インターナショナル・ジャズ・フェスティバル、韓国・光州ワールド・ミュージック・フェスティバル、米国デトロイト・インターナショナル・ジャズ・フェスティバル、やフランス、イタリアでの公演に出演。2023年にはスペインにて第58回サン・セバスチャン国際ジャズフェスティバルにソロピアニストとして出演。現在国内外で活動中。



バードマン幸田（元・新宿ジャズスポット「J」店主）

早大モダンジャズ研究会にてサクソ奏者として活躍。10年間の会社勤めの後、1978年、「タモリ」などジャズ研OBの共同出資で新宿・ジャズスポット「J」をオープン、店主となる。2020年4月まで「J」を守って41年余、ガードマン幸田とも呼ばれた。国内外のトップミュージシャンからジャズ研OBや現役の精鋭、社会人ビッグバンドなどが出演。「J」から巣立ったミュージシャン、シンガーは小野リサをはじめ数知れず。全国各地のジャズフェスティバル、コンサート、各種イベントの企画・司会・サクソ演奏と多方面で活躍。ジャズ誌や新聞・雑誌などへの評論、エッセイの執筆も多数。2018年には自伝とも言えるべき「JAZZ SPOT Jの物語・バードマン幸田風雲録」を出版。「ルパン三世・天使の策略」にはアニメキャラクターとして登場した。チンさんと同期!!



小西啓一（評論家／ラジオ・プロデューサー）

ラジオ・プロデューサー&ジャズ・ライター。1944年8月生まれ。杉並区で育ち、高校生の時M J Q でジャズに没入、早大時代はモダンジャズ研究会所属、チンさんと同期。卒業後はラジオたんぱ（現ラジオ日経）に入局。音楽番組「テイスト・オブ・ジャズ」からドラマ、ドキュメンタリー、スポーツなど様々な仕事を…。傍ら「スイング・ジャーナル」や「ジャズ・ライフ」で執筆、現在は「ジャズ・イズ」誌でディスク・レビューなどを担当。2021年度日本ジャズ音楽協会会長賞受賞。